

新潟産業大学 父母の会々報

題字
初代会長青木貞元氏

発行所
新潟産業大学
父母の会事務局
〒945-13
新潟県柏崎市軽井川4730
☎(0257) 24-6402

六月十五日、今年も全国から二百人以上の会員が出席し、平成九年度父母の会総会が開催された。

皆さんで参加、
スポーツで健康な心身を



会長 真貝清一

変り、より良い方向に発展出来ることと信じております。“参加を心に”

最近子供達が外で遊んでいるのを見かけ無くなつた様な気がしています。テレビ、テレビゲーム等のマスメディア発達

による情報化社会の波と高学歴指向に対応する学習塾通いにより、遊びの空間が無くなつたのでしょうか。この反動によ

り遊びの楽しみ、仲間意識、思いやりが無くなり、いじめ、低年齢者における殺人事件等いろいろな事件が起きているのではないかと思われます。ゆとりと豊かさを求める人間社会と、その生活の実現に向かって体育、スポーツで人間ひとり

一人が仲間とのふれ合いの中で健康で活動ある心身が作り出されるのではないで

しょうか。部活動、スポーツクラブでも良いが大いにスポーツで仲間作りをして、人間性を豊かにすると共に健康で文化的な生活を送りたいものです。

父母の会も創設されて四年目となり、定期総会、学園祭に合わせた文化講演会、各支部総会と活動内容が定着化しつつあ

りますが、よちよち歩きを始めたばかりでありますので、会員の皆様がより多く参加し、大学と子供達がより良い大学生活が出来る様な父母の会に発展させていかなければならぬと思つております。

それは役員に「おまかせ」ではなく一人でも多くの皆様から参加をしていただきたいと思いますので、まず参加を心がけていきたいものです。数は「力」に

父 母 の 会 総 会



続いて、荊木学長から会員の理解と熱意に対する感謝の意が表された。そして大学冬の時代に向け更なる発展を遂げるためには、大学・学生・父母の三本の矢の結束が必要であると説かれた。

更に、今年度の特筆事項である①学園創立五十周年・開学十周年の記念事業②大学教育・研究の現状把握と改革に向けた自己点検自己評価③大学の個性化と経営の健全化に関わる経済学部の臨時定員増加措置延長について報告がなされた。

引き続いて、役員・教職員紹介の後、平成八年度事業報告と収支決算及び監査報告、平成九年度の予算と事業計画説明が行われ承認された。この後、各部長から具体的な現状報告が行われた。

まず、樋口教務部長から年間スケジュールに添つて概況が説明された。その中で、学生の自主性と責任において履修登録をさせているが、学生の幼稚化が目立ち、授業から脱落する者が多いことと、カリキュラムの見直しを図っていることを特に強調していた。

続いて、金子就職課長から昨年度実績と今年度の現況、来年度に向けての体制が報告された。今年は就職協定の廃止に

伴い混乱が心配されたが、企業の採用意欲が高く、雇用状況が改善されていること、内定者が提出した報告書が後輩の宝物となること、就職合宿がマスコミに大きく取り上げられたこと、などが報告された。来年度に向けては、早めの情報収集と活動が重要であり、志を大きく持ち中央大手企業にも挑戦して欲しいと訴えていた。

最後に、村山学生部長から学生生活についての説明がなされた。特に、交通事故や精神的に脆い学生の増加、アルバイトと勉学の関係、学費未納者への対応、短期留学についてを強調していた。

総会後は、「心と体の健康」と題して本学校医の曾田恒先生による講演が行われ、学生に増加している高血圧・高脂血・肥満・肝障害・糖尿病と飲酒・喫煙・食事・運動の関連性や、文明社会のストレスと精神の関係が説明された。

その後の懇親会では活発な交流が行われ、本年度の総会は無事幕を閉じた。



50周年記念行事

十月三十一日、柏崎市産業文化会館において、学校法人柏専学院創立五十周年新潟産業大学開学十周年記念式典が挙行された。

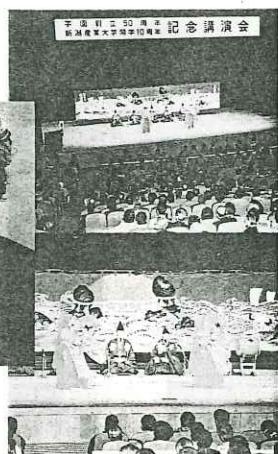
式典では、学院理事長の莉木学長が歴史を振り返り、「五十年は平穏無事な日々ばかりでなく、幾多の困難を乗り越えて今日がある」と関係者に深い感謝の意を表した。また、大学を取り巻く環境が厳しさを増していることから「新しい時代に対応して個性化を図り、開かれた大学として地域とともに発展していきたい」と述べ、出席者の支援を求めた。

続いて、田中真紀子代議士・西川市長・阿部工科大学長から、関係者の苦労に敬意を表すとともに、今後の発展に大きな期待を寄せていくとの祝辞を頂いた。

この後、祝賀会では五十年を振り返るビデオが上映され、出席者は新潟の銘酒を手に、これまでの苦労とこれからの展望を語り合っていた。

十一月二日には、柏崎市民会館大ホールにおいて記念講演会が開催された。開演前から多くの人々が列を成し、市内外から詰め掛けた聴衆がロビーまで溢れるほどの記録的な講演会となつた。

まず、柏崎市鶴川地区に伝わる国指定重要無形民族文化財の綾子舞公演が行われた。扇を持ち優雅に舞う常陸踊り・狂言海老すくい・素朴な着し舞・冠を着け両手で棒を操る華麗な小切子踊が披露され、観客を魅了し別世界へと誘つた。



就職の問題はどうか?

学生部長 村山 実

私が学生のときの教員からのアドバイスは「就職は一生の問題だからよく考えなさい。」であった。そのアドバイスにもかかわらず、私たち学生はいい加減に聞き流し、就職時期が来ても「どこかあらう。」、「どこでもいいさ。」と気軽に構えたものであつた。神武景気、大和景気と右肩上がりの経済成長期に巡り合わせた私どもは、先輩の心配をよそ

に気楽な学生生活を送ってきた。学生のときの選択した職場が一生の職場となるのだろうか。日本独自の終身雇用制といえどもわずか50年そこそこの歴史と聞く。最初の職場で定年を向かえる人の比率は、学歴によって異なるものの、わずか十数パーセントというデータもある。終身雇用制が当たり前と思っていた時代ですらこのような状況である。契約社員、年俸制などの言葉が行き交うこの頃、学生に対するアドバイスで絶対的決め手は見つからない。ただ言えることは変化に強い人間、変化に対応できる人間、転職できる人間になつていることが重要なではないでしょうか。

ストレース

下鉄サリン事件、神戸の殺人事件など今日の心象風景にふれ、「沖縄に今なお目に見える戦争が残るとすれば、私たちの社会は見えない『心の内戦』という激戦の真っ只中にある」との見方を示した。経済大国を目指し走り続けた戦後五十年をたどり、「私たちは豊かさと引き換えに、絶望することも悲しむことも知らない子供をつくってしまった。笑い、喜び味わうことには巧みだが、ものを口にすることできまる感動、悲しみさえも知らない」とし、「光よりも大切だが、影も大事。寂しがり、泣き、悲しむという感情を生き生きと広げることから、命のいとおしさ、尊さが生まれる」と締めくくくなってしまいます。

ストレスというと体に悪いものとばかり思われがちですが、私達が生きていくうえで大事なものもあります。ストレスとは、体への負荷に対する体の反応で

率が低くなります。対応できないと思えば悪いストレスになります。悪いストレスにかかる場合は、ストレスをおこす状況をかえるか、避けるか、または状況に順応することが必要です。順応力を高めるためには以下の点に心を留めておくとよいでしょう。

- 規則正しい生活をする。
- 緑黄色野菜を多くとる。
- 運動をする。
- 目標や目的を持つた生活をする。
- 気分転換できる場所をつくる。
- 他人とコミュニケーションをとる。

ところで、ストレスが体に悪いものになるかどうかは、私達がストレスをどう認識するかによります。自分がそれに対応できると思えば悪いストレスになる確

じている学生も多いと思います。たまには、親御さんから気軽に電話などしてみてはいかがでしょうか。

(3) 平成9年(1997)12月22日(月)

新潟産業大学父母の会会報

企業が好む人物像

—就職課—

就職協定廃止初年度となつた平成九年度の本学の就職は、近年では最も良い結果を残すことができた。(別表)詳しい内容については、年明け一月に発行予定の「就職だより創刊号」に詳しい内容を記したので、そちらをご覧いただきたい。そこで今回の会報では、就職の結果から離れ、企業が好む人物像について少し触れてみたい。もちろんこの枠を突き破る学生も求められている。

二月から、「会社説明会」や「会社セミナー」等の名称で、三年生向けの自社PRの会が開かれる。(このときに一次選考を実施する会社もある)気の利いた会社は、説明会そのものについても、内容、運営方法等の項目でアンケートを取る。採否には関係なしとの説明に、学生は思うままを書く。その回答にふたつの傾向がある。「説明がつまらない」、「会場の誘導が悪い」等、ネガティブな

回答をする学生。これとは逆に、ポジティブな回答をする学生がいる。「自分では、営業に向いていないと考えていました。

しかし、説明会に参加して、御社の営業活動は大学で学んだ〇〇が生かせることを知り、御社の営業ならやってみたくなっていました。ありがとうございました。」

ふたつのグループ、その後の就職活動でどのような結果を出したのか。

今年これを追跡調査した人がいる。高瀬社長という人事・採用のプロだ。年一回、本学のガイダンスの講師をお願いしている。調査は、高瀬社長が企画した数社の会社説明会に参加した学生モニターを集計したもの。そして、興味深い結果が出た。就職内定率(七月中旬)にはつきり違いが表れた。ポジティブ派の内定率、男子八四%、女子七六%。これに対しネガティブ派は男子五八%、女子三二%となり、明らかに、ポジティブな学生の方が、就職に強いことが分かった。

では、ポジティブタイプの人間とはどんな人間なのか。①いつもプラス発想で忍耐力がある、感謝の気持ちがある、わがままをいわない、潔い②感受性が高い、感動できる、相手の立場になれる③一生懸命考えている、勉強しているこれがだけの言葉が並ぶと、自分はポジティブタイプと胸を張れない。しかし、ポジティブな姿勢を心がけることで事態は好転し、とりわけ学生の就職活動は良い展開を見せる。就職活動を経験することで、ポジティブタイプに変身した学生をことだ。変えたいと思えば変えられる。

単位取得について —教務課—

本学は単位制を採っており、学則で定められた卒業要件を満たす所定の単位を取得すれば、四年間で卒業することができます。殆どの科目は一科目四単位であり、週一回九十分の授業(一コマ)を年間約三十週受講し、試験に合格すれば四単位取得したことになります。但し、厳密には授業の予・復習時間も単位に含まれます。

例えば年間四十八単位履修している学生の場合、一週当たり凡そ十二コマの授業があることになります。本学では月曜から金曜まで授業を行い、一日五时限体制ですから、平均すると日に二~三コマの授業になりますが、時間表の作成は学生各自が行いますので、中には特定の曜日に授業を集中させ、週休三日を謳歌している学生もいます。

次に学部・学年別の平均的な単位取得状況をみてみましょう。(別表)

表では一つの目安として、学年終了時の平均的な取得総単位数について触れていますが、卒業には単位数だけでなく必修科目を必ず修得するなど他の要件も満たす必要があります。そして、何よりも優秀な成績を修める努力が重要であるのは言うまでもありません。つまり、質と量の両方を満たすことが肝心です。

年が明け、一月中旬からは一年の総決算ともいえる学年末試験が始まります。ご父母の皆様からも一層の奮起を促して頂くとともに、一家団らんの際には是非大学での話題も会話に加えて下さるようお願い致します。

試験の結果(成績表)は三月中旬頃ご自宅宛に送付しますので、表を参考にされ、不明な点は何なりと大学教務課迄お問い合わせ下さい。

【経済学部】

学年	学年終了時の総単位数	留意事項
1年	40	20を下回った場合、4年間での卒業には2年次以降にかなりの努力が必要であるとともに、生活や学習態度の見直しが求められます。
2年	80	40に満たない場合、3年次の必修科目が履修できず、卒業延期が確定します。たとえ40を越えていても60以下では安心できません。
3年	120	86に満たない場合、卒業延期が確定します。86を越えてても100前後では4年次に学習と就職活動の両立が困難です。
4年	140	卒業単位は136以上。それ未満であれば卒業延期。4年次は就職活動があり、一般的に取得単位が少なめです。

【人文学部】

学年	学年終了時の総単位数	留意事項
1年	45	25を下回った場合、4年間での卒業には2年次以降にかなりの努力が必要であるとともに、生活や学習態度の見直しが求められます。
2年	90	50を下回っていると残りの2年間では挽回が難しく、卒業延期が高確率です。たとえ50を越えていても70以下では安心できません。
3年	135	100に満たないと就職活動に必要な卒業見込証明書が発行されません。90を下回っていると卒業延期が高確率です。
4年	155	卒業単位は150以上。それ未満であれば卒業延期。4年次は就職活動があり、一般的に取得単位が少なめです。

注1) 経済学部での年間取得単位数は50が上限です。

人文学部には規程上の上限はありませんが、実質的には60が上限です。

注2) 学年終了時の総単位数は成績表右下に表示されます。

注3) 人文学部4年の学年終了時総単位数は予想です。

第十回 學園祭「紅葉祭」

本学学園祭の雰囲気を知ってもらおうと、入試課も高校生の体験入学をこの学園祭期間中に設定し、入学を希望する高校生たちも、大学の学園祭を体験できることを喜んでいたようだった。

第十回という一区切りを終え、大学の学園祭が、学生を一つにまとめる行事になり得ること、そして広く市内外の方に知つてもらうことは、本学のこれからに関わってくることを切実に感じた。

是非、来年はご父兄の皆さんも足を運んでみてください。

学生たちにとつても、第十回という区切りとなつた今年の紅葉祭は、初日は生憎の雨に見舞われたが、翌日からの二日間は見事な快晴に恵まれた。

初日のメインイベントのコンサートは、大学講堂に「山崎まさよし」を招き、生ギター一本でのコンサートを予定をオーバーして一時間半行い、学生も一緒に熱唱していた。

二日目、三日目のイベントは、大学の中庭に特設ステージを設け、本学学生はもちろん、市内外の子供や高校生から大人まで幅広く市民があつまり、大いに賑わっていた。

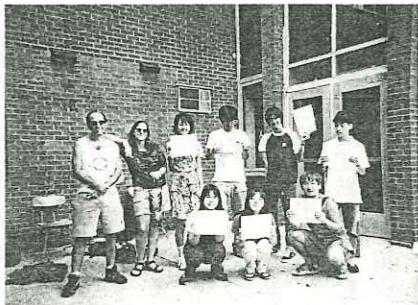


▲特設ステージでのイベントの様子

「鉄は熱いうちに打て」の諺もあるように、心身の柔軟な年代に異文化コミュニケーションのノウハウを身につけることができれば、それは文字どおり當人にとつて血となり肉となります。

五月のロシア・ハバロフスク経済法科
アカデミーに始まり、八月に米国・ノーザンアリゾナ大学と台湾研修、二月には中国・哈爾濱師範大学と黒龍江大学へと多くの学生が留学しています。期間は週間から三ヶ月と違いはありますが、机上や画面上の外国ではなく、異文化の真只中に身を置くことによって、様々な刺激を肌で感じ取り、自己啓発のきっかけとなっています。この他に個人留学も増えており、今後は韓国や台湾の協定校との交換留学も実現する予定です。

動機に差はあれど、参加者は一様に大きな充実感を得て帰つてまいります。ご子弟が留学を考えているようでしたら、是非実現に向けお力添え下さい。



▲ノーザンアリゾナ大学キャンパスにて



▲万里の長城にて

◆短期留学に関して◆

大学連絡

毎年、学内の留学生Xマス会で、教職員が不用品を持ち寄り、プレゼントしています。今年は昨年の倍以上の品物が集まりました。景気・株価の低迷が続く師走、学生達の笑顔がなにより。

父母の会支部会だより

12月	12月	12月	12月	11月	11月	11月
21日	7日	7日	6日	30日	24日(祝)	16日
(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)
近畿以西支部総会(大阪市)	北海道東北支部総会(山形市)	北陸支部総会(金沢市)	長野支部総会(長野市)	関東支部総会(大宮市)	富山支部総会(富山市)	群馬支部総会(前橋市)
新潟支部総会(長岡市)	福井支部総会(福井市)	岐阜支部総会(岐阜市)	愛知支部総会(名古屋市)	三重支部総会(伊勢市)	大阪支部総会(大阪市)	神戸支部総会(神戸市)

約 約 約 約 約 約 約
110 30 40 20 25 15 25 25
名 名 名 名 名 名 参加
参加 参加 参加 参加 参加 参加